

スクールゾーン実行委員会だより

令和 8 年 7 月 22 日
札幌市立札幌小学校
スクールゾーン実行委員会
実行委員長 阿部 昂太

7 月 1 4 日（火）、札幌市立札幌小学校において、令和 8 年度第 1 回スクールゾーン実行委員会を開催いたしました。

東警察署をはじめ、本校を見守って下さっている関係者の皆様に御参加いただき、校区の道路の状況や危険箇所、子どもたちの生活の様子について、様々な観点からたくさんの意見が出されました。

さらに、学校でできること、家庭や地域でできること、関係団体の連携など、それぞれの立場から子どもたちの安全についてアプローチしていくことを確認することができました。



◆校区の安全状況について

- ・カラスの巣立ちの時期、人に攻撃をしてくることがある。土木部としては、巣を撤去するとそれを覚えていて人を襲うことがあるので、撤去しない方針だが、何かあれば連絡をいただきたい。
- ・校区ではないが、区内で不審者出没や恐喝事件があった。そういった場合は 1 1 0 番で警察に連絡をしていただきたい。また、ほくとくん防犯メールなどを活用して情報収集をして、各家庭で犯罪へ構えを確認していただきたい。
- ・札幌市内小学生にかかわる交通事故実態（令和 7 年）について、事故発生時間帯は 1 5 ～ 1 7 時が最も多い。学年別では、徒歩の場合 1 ・ 2 年生が多い傾向、自転車では、6 年生が最も多いが、その他の学年でも発生している。下校後、遊びに行く時に発生していることが考えられる。
- ・自分が交通ルールを守っていても、自動車側が原因で事故は発生する。青信号でも、左右をしっかり確認するなど自分の身は自分で守る意識を高めていただきたい。

◆子どもたちの様子について

- ・子どもたちの道路での斜め横断や自転車での右左折の仕方が危険だと感じることもある。特に自転車でスピードを出したまま右左折する様子が見られる。
- ・他校では、児童が安全マップを作成して町内会と共有している。札幌小でもあるとよいのではないかな。

◆今後に向けて

- ・安全マップ作りについては検討をすすめる。
- ・学校でも、今回報告されたことを指導していく。

このように、より多くの大人の目で、子どもたちの登下校の様子を見守っていくことが大切だということが確認されました。。

※お気付きの点がありましたら…事務局 教頭（倉島）まで Tel 7 8 1 - 5 2 5 8